

第2回意見聴取の結果概要

意見聴取の概要

○ 第2回意見聴取は、地域住民・道路利用者へのアンケート調査（郵送、配架、WEB、街頭）、及び「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する団体へのアンケート調査及びヒアリング調査を実施。

■ 調査期間

令和6年8月30日（金）～令和6年9月30日（月）

■ 調査方法及び対象

調査種別	対象者	調査手法		配布数 (通)
アンケート	地域住民	郵送	標本調査の手法により、京丹後市内在住者3,000人を無作為抽出し、郵送配布、郵送回収	3,000
	地域住民・ 道路利用者	配架	市役所及び各振興局に調査票を常設、投函箱による回収	—
		WEB	京都府のホームページに開設	—
		街頭	道の駅丹後王国食のみやこ、京都縦貫自動車道由良川PA、道の駅てんきてんき丹後、ショッピングセンターメイン、道の駅くみはまSANKAIKAN、アミティ丹後、京丹後市役所	—

調査種別	対象者	団体数
ヒアリング	<p>「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、各商工会議所、商工会 ○（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社 ○京丹後市区長連絡協議会 ○丹後機械工業協同組合 ○丹後織物工業組合 ○京丹後 宿 おかみさんの会 ○京都農業協同組合 ○京都府漁業協同組合 等 	36団体

意見聴取の概要（実施状況）

■街頭アンケートの実施状況



▲京都縦貫自動車道由良川PA



▲アミティ丹後



▲道の駅 丹後王国食のみやこ

■配架アンケートの実施状況



意見聴取の結果（アンケート回答数）

■ 調査の結果

1,767人（回答総数）

■ 郵送+WEBアンケートの結果

調査種別	対象者	調査手法	実施期間	配布数 (通)	回答数 (通)	回答率 (%)
アンケート	地域住民	郵送	令和6年8月30日（金）	3,000	1,039	34.6
	地域住民・ 道路利用者	WEB	～ 令和6年9月30日（月）	－	222	－

■ 街頭アンケートの調査結果

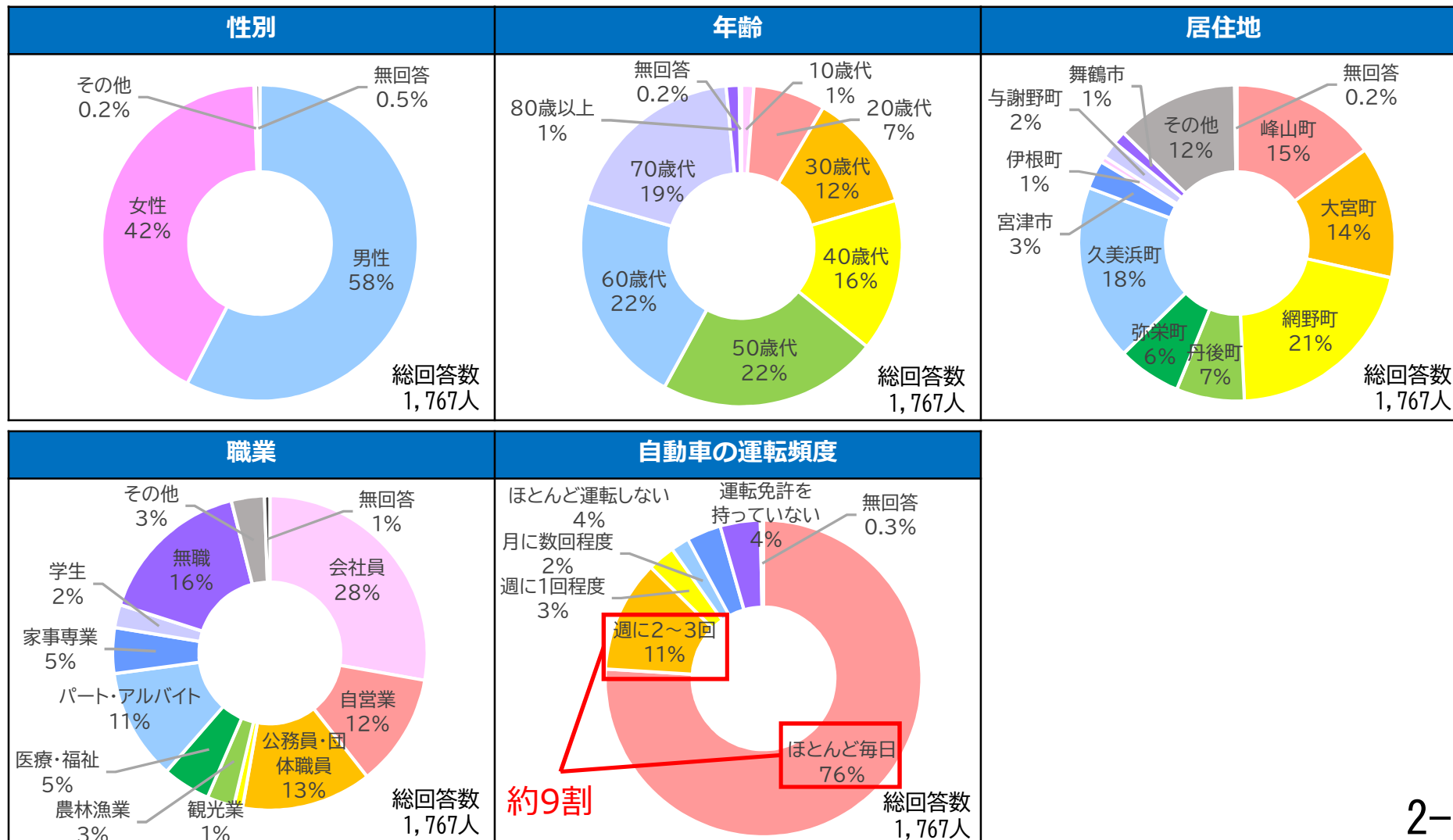
実施場所	実施日	回答数（通）
京丹後市役所（網野庁舎、久美浜庁舎）	令和6年9月2日（月）	41
京丹後市役所（峰山庁舎、丹後庁舎）	令和6年9月3日（火）	38
アミティ丹後、ショッピングセンターマイン	令和6年9月6日（金）	92
京丹後市役所（大宮庁舎、弥栄庁舎）	令和6年9月9日（月）	24
京丹後市役所（網野庁舎、久美浜庁舎）	令和6年9月10日（火）	36
道の駅くみはまSANKAIKAN、道の駅てんきてんき丹後	令和6年9月14日（土）	55
道の駅丹後王国食のみやこ、京都縦貫自動車道由良川PA	令和6年9月22日（日）	102
		合計：388

■ 配架アンケートの調査結果

実施場所	実施期間	回答数（通）
京丹後市役所 （峰山庁舎、大宮庁舎、網野庁舎、丹後庁舎、弥栄庁舎、久美浜庁舎）	令和6年8月30日（金）～ 令和6年9月30日（月）	40
宮津市役所、与謝野町役場、伊根町役場		62
丹後広域振興局 （宮津総合庁舎、峰山総合庁舎）		16
		合計：118

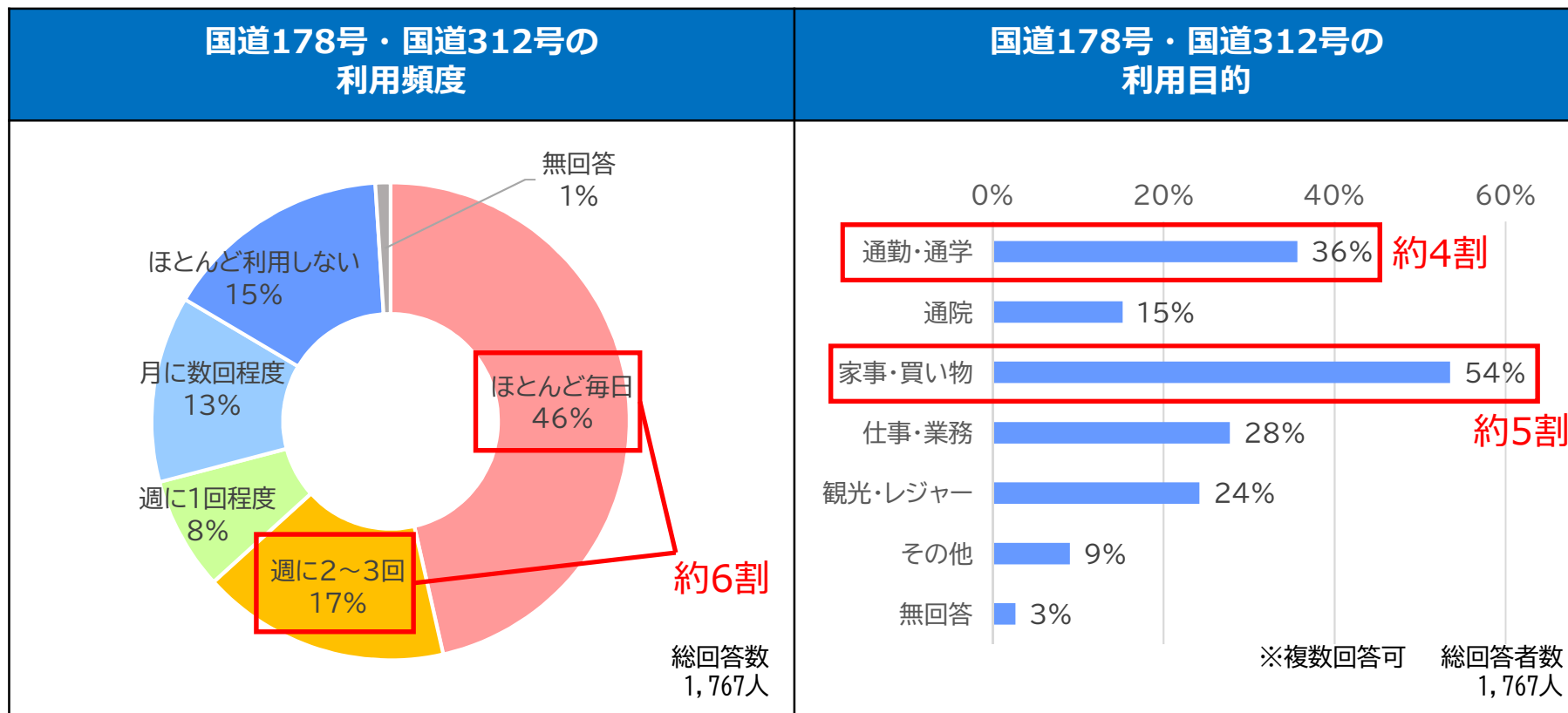
意見聴取結果（アンケート回答者の属性①）

- 回答の男女比率、年齢比率に大きな差はなく、また居住地についても計画対象地域である京丹後市内の回答を多く得ており、概ね正確な調査結果が得られていると考えられる。
- **自動車の運転頻度は、「ほとんど毎日」と「週に2～3回程度」の合計が約9割**を占める。



意見聴取結果（アンケート回答者の属性②）

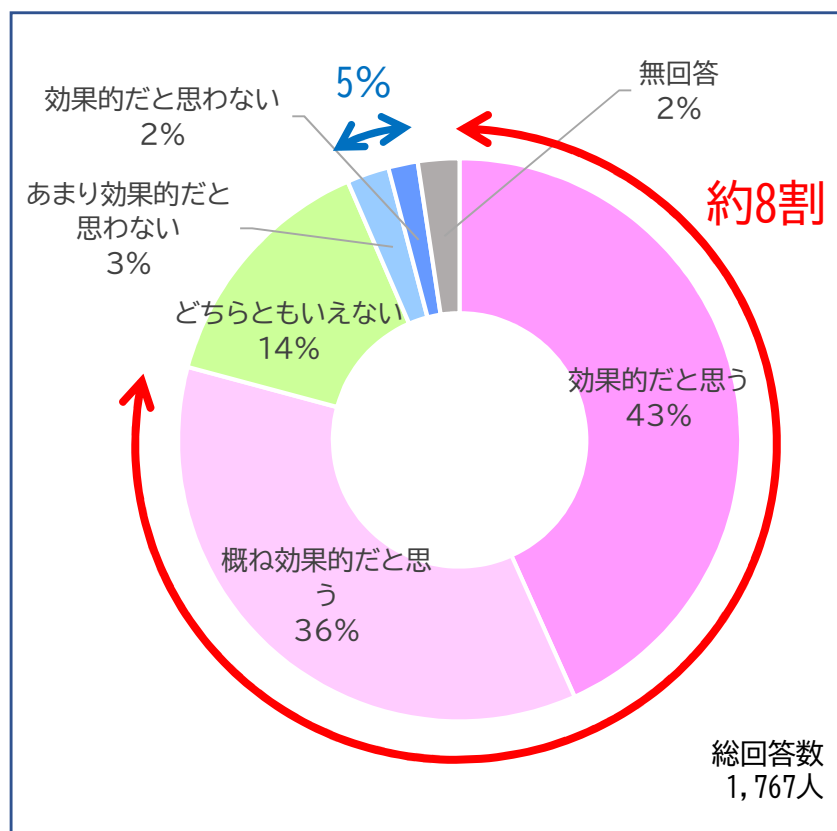
- 国道178号・国道312号の利用頻度は「ほとんど毎日」と「週に2～3回」の合計が約6割を占める。
- 利用目的では、「家事・買い物」が回答者数の約5割、「通勤・通学」が回答者数の約4割を占める。



意見聴取の結果（ルート帯案の妥当性①）

- 今回お示したルート帯案について「効果的だと思う」「概ね効果的だと思う」と答えた方が約8割を占め、「あまり効果的だと思わない」「効果的だと思わない」と答えた方は5%であった。
- 効果的だと思う理由としては、**移動時間の短縮、災害時や観光振興に効果がある**といった意見が得られた。
- 効果的だと思わない理由として、既存の道路で十分、自動車道整備による過疎化の懸念といった意見が得られた。

【ルート帯案の妥当性】



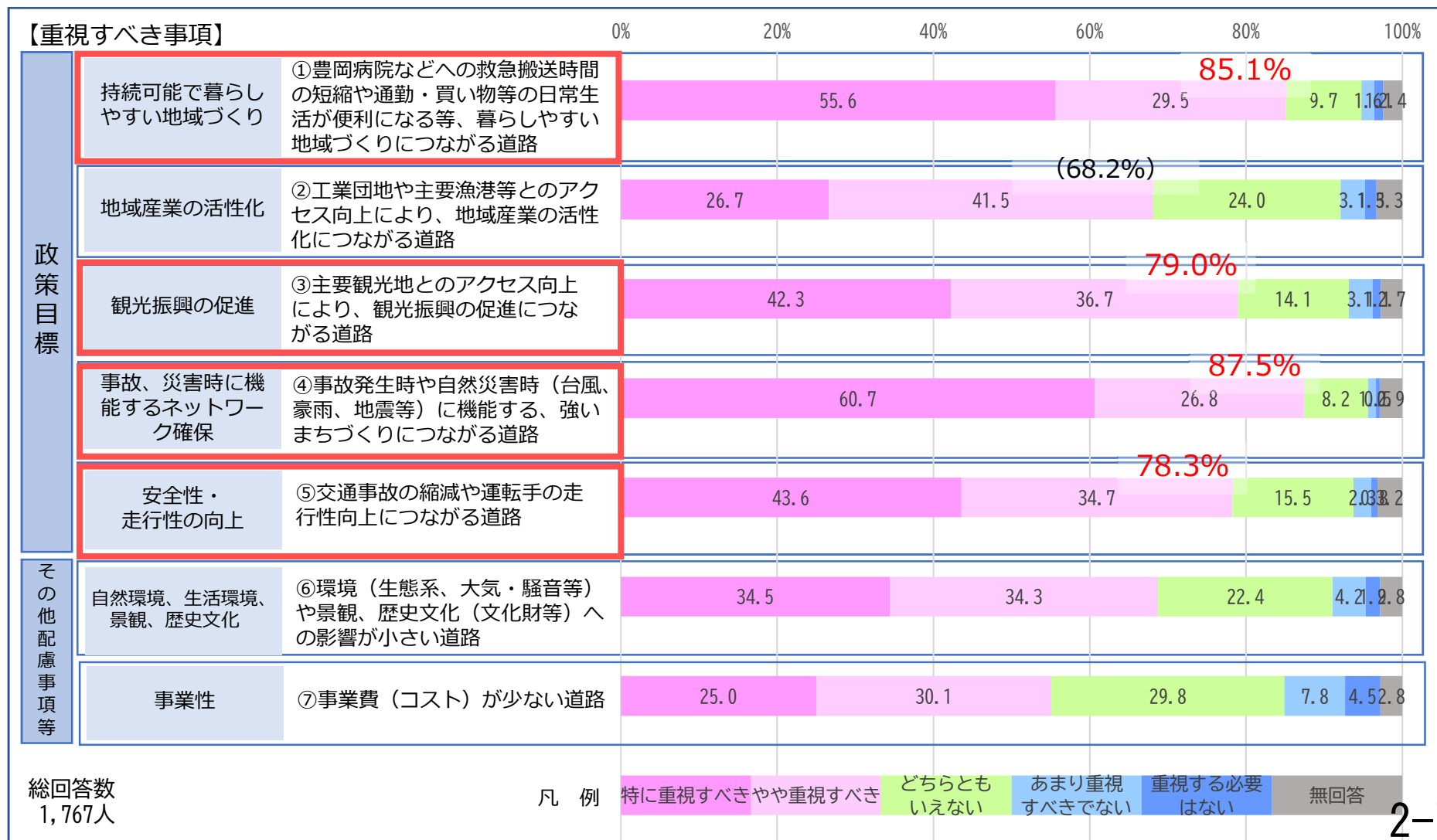
【効果的、効果的でないと思う理由】

分類	主な意見
効果的だと思う (345件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動時間が短縮される。 ■ 山陰近畿自動車道がある事で、交通量も多くなり地域産業にも良いと思われる。 ■ <u>災害時の交通確保ができる</u> ■ <u>観光施設へのアクセス利便性の向上による入込客の増加が期待できる。</u> ■ 生活道路を利用する車両が減り、安全性が向上すると思う。 ■ 災害時の交通確保ができる
効果的だと思わない (42件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般道の充実で代替可能である。 ■ <u>地域の過疎化が一気に進むことが懸念される。</u> ■ <u>いずれのルート帯案も自然環境や景観への悪影響は避けられない</u>と思うため。 ■ 一部現道活用の選択肢は不要だと考える。
どちらともいえない (52件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浜詰等観光地を通りすぎてしまう。 ■ 移動は便利ですが、下道の店舗等は閑散となってしまうのではないかと。

総回答数：439意見

意見聴取の結果（ルート帯案検討時の重視事項）

○ 重視すべき内容について「持続可能で暮らしやすい地域づくり」、「観光復興の促進」、「事故、災害時に機能するネットワークの確保」、「安全性・走行性の向上」を重視すべきとの意見が多かった。



意見聴取の結果（アンケート自由意見①【配慮すべき事項】）

- ルート帯を検討する際に配慮すべき事項についての自由意見は、延べ401件の意見が寄せられた。
- 求める配慮として「移動手段の利便性の優先」「観光・産業が廃れないようなルートの方策」「但馬地方の観光地との移動の容易性」「災害に強い道路」「雪に強い道路」「景観に配慮したデザイン・構造」「事業費が少ないルートの策定」等といった意見が見られた。

■ 配慮を求める意見 □ その他希望等の意見

分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり (72件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストがかかっても交通の利便性を求めるべき。(20代男性) ■ 地域外からの移動者と地元住民の移動手段の利便性の優先を考慮してほしい。(60代男性) □ 現状をよくする視点より、道路の整備が未来の京丹後市をよくする視点がよい(30代男性)
地域産業の活性化 (16件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ただ便利になるだけではなく、今までの(観光)産業が廃れないようなルートにしてほしい。高速道路ができたがために廃れた地域はたくさんある。それを例に地域活性に努めてほしい。(40代男性) ■ 京丹後市の特産物に影響がないように配慮してほしい。(20代男性)
観光振興の促進 (31件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夕日ヶ浦等へのアクセスが大事。ただし国道312号とのアクセスにも配慮が必要(70代男性) ■ 城崎温泉等、但馬地方の観光地との移動が容易になるようにすべき。(50代男性) ■ 人口減が今後も見込まれるので観光客誘致に有利なルートとすべき。(50代女性)
事故、災害時に機能するネットワーク確保 (23件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然災害等で使用不可になった時に、早急に復旧できるようにしていただきたい。(40代男性) ■ 丹後半島で地震が発生した場合でも高速道路は走行可能となるよう、<u>災害に強い道路(脆弱な箇所に整備しない)</u>としてほしい。(50代男性)
安全性・走行性の向上 (55件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 冬に積雪があるので<u>雪に強い道路</u>を望みます(60代男性) ■ カーブはなだらかにし、トンネルの高低をへらす。(50代女性) ■ 新しく作るのであれば逆走できない出口(40代男性)
自然環境、生活環境、景観、歴史文化 (59件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海岸線など景観にマッチした(配慮した)デザイン、構造にすべきだと思います。(60代男性) ■ 自然環境豊かなこの地域の特性に配慮してもらいたい。(40代男性) ■ 道路ばかりでなく、もっと市税を別な形で有効活用してほしい。開発を進めるのはいいが、環境破壊につながるようなものは不要ではないかと思う。(50代女性)
その他 (145件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 早期完成を優先してルートを検討していただきたい。(70代男性) ■ 事業費が少ないルート帯案を検討すべき。(40代男性) ■ 維持管理(メンテナンス)が良いルートを選択すべき。対面通行では夜間工事となる。(70代男性) □ インターへのアクセス道路の一体的な整備(60代男性)

意見聴取の結果（アンケート自由意見②【意見・要望】）

- 山陰近畿自動車道の整備に関する自由意見は、延べ502件の意見が寄せられた。
- 「地域の活性化、生活環境の改善につながる」「他府県へのアクセスがスムーズになる」等といった整備による効果に期待する意見が見られた一方、「一般道沿いの店舗が苦しくなる」「環境にもよくない」等といった整備による懸念、配慮を求める意見も見られた。また、その他の主な意見として、早期整備や利用料金、休憩施設の設置に関する意見も見られた。

■ 整備による効果に期待する意見 ■ 整備による懸念の意見 □ その他希望等の意見

分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり (57件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高速道路網の整備が地域の活性化、生活環境の改善につながる。(50代男性) ■ 延伸や豊岡道と直結によって『通り過ぎてしまう』ことを危惧します。(60代男性) □ 地域と交流しやすい、利用しやすい道路にしてほしい。(60代男性)
地域産業の活性化 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 流通、交通の面でも自動車専用道路として東西を結び、<u>他府県へのアクセスがスムーズになる</u>ことが効果的だと考えます。(50代男性) ■ 自動車道整備により<u>府道・市道沿いの店舗が苦しくなる</u>のでは。(50代女性)
観光振興の促進 (19件)	<ul style="list-style-type: none"> □ 県外の人達が観光に来やすく、帰りやすい、そんな自動車道の整備だと嬉しいです。(30代女性) □ 観光地と連携して通過されるだけにならないような政策がいる(30代女性)
事故、災害時に機能するネットワーク確保 (19件)	<ul style="list-style-type: none"> □ 能登半島沖の地震を見て、道路が遮断され物資の運搬に時間を要したことを聞いています。少しでも交通手段の選択肢を増やすことと、耐震がしっかりしている道路を望みます。(40代男性) □ 高速は南側に一経路、北側にも一経路が防災上必要だと思います。(50代男性)
安全性・走行性の向上 (46件)	<ul style="list-style-type: none"> □ 冬に強い道路。観光シーズンの渋滞、車線数、要検討して頂ければと思います。(50代男性) □ 事故の起きにくい、走りやすい道路にしてほしい(60代女性) □ 追い越し車線を可能な限り多く作ってほしい。(70代女性)
自然環境、生活環境、景観、歴史文化 (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山や自然をなくして無理に便利にするのはあまり好きではないし、<u>環境にもよくない</u>と思います。(20代女性) ■ 夜間の騒音対策をお願いします。(60代男性)
その他 (330件)	<ul style="list-style-type: none"> □ <u>早期の着工と開通を望みます</u>。(60代男性) □ <u>便利でも通行料が高いと利用をひかえる</u>のでそのあたりも考えてほしい。(20代男性) □ <u>由良川PAを過ぎるとSAやPAは一切ない</u>ので、あると望ましいです。(30代男性)

意見聴取の結果（団体ヒアリング①【配慮すべき事項】）

- 「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する36団体にヒアリングを実施。
- 求める配慮として「交流人口の増加につながるルート」「地震が発生した場合でも、道路の機能が確實機能する道路」「生物の生息環境の確保」「住民に親しまれた施設の移転、文化財の消滅・移転及び地域の分断の回避」等といった意見が見られた。

■ 配慮を求める意見

分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり（6件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 延長・事業費にも配慮しつつ、<u>交流人口の増加につながるルート</u>が望ましい。（観光関係者）
地域産業の活性化（1件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 早期に整備が可能なルートで、観光や物流等の整備効果を最大限に発揮できるルートを検討してほしい。（自治体）
観光振興の促進（1件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の交通利便性の向上や観光振興への貢献が期待されており、技術的な課題や地域住民の意見を慎重に取り入れながら、環境保護や景観への配慮も踏まえた上で、将来的な交通需要に対応できるルート帯案の検討をお願いしたい。（運輸業）
事故、災害時に機能するネットワーク確保（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地震他自然災害が発生した際、緊急車両が通行でき、災害物資や災害復旧用資材がいち早く届けられるようにするための道路づくりが重要。（商工会） ■ <u>令和6年能登半島地震のような地震が発生した場合でも、道路の機能が確實機能する道路</u>になるようなルートが望ましい。（自治体）
安全性・走行性の向上（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光シーズン（特に夏場）には渋滞が予測されるが、なるべくアップダウンやカーブの少ない線形で整備すれば渋滞の発生を減らせることが出来るのではないかと。（商工会）
自然環境、生活環境、景観、歴史文化（5件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緩衝帯、法面、区域内の未利用地は緑化を図るとともに、<u>生物の生息生育環境の確保</u>に努める。（自治体） ■ 地形や周辺の土地利用状況等を踏まえ、周辺環境への影響を少なくする。（自治体） ■ <u>地域の住民に親しまれた施設の移転、文化財の消滅・移転及び地域の分断を避けるよう</u>努める。（自治体、観光関係者） ■ ルート沿線が山陰海岸国立公園や丹後天橋立大江山国定公園にも指定される風光明媚な景勝地であることに鑑み、周囲の景観を損ねることのないよう道路、橋梁等の構造物の意匠・色合いには十分に配慮してほしい。（観光関係者）
その他（26件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元自治体、住民の意見も十分踏まえて対応してほしい。（自治体、商工会、観光関係者） ■ 全線開通において早期開通を目指し工事のスピード感を重視してほしい。（自治体、商工会、観光関係者、製造業関連、建設業関連、その他団体）

意見聴取の結果（団体ヒアリング②【意見・要望】）

- 「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する36団体から延べ55件の意見が寄せられた。
- 「沿線地域の活性化や企業誘致の促進、周遊観光の相乗効果が期待」「経済・産業の活性化を図るうえで必要不可欠」「京都縦貫自動車道と連結し災害時の緊急輸送道路として必要不可欠」といった整備に期待する意見が見られた一方、「登下校中の児童の危険性」等といった整備による懸念も見られた。

■ 整備による効果に期待する意見 ■ 整備による懸念の意見 □ その他希望等の意見

分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり (4件)	■ <u>山陰近畿自動車道の整備による高速道路ネットワークの構築により、沿線地域の活性化や企業誘致の促進、周遊観光の相乗効果などが期待できることから、早期の全線開通を希望する。</u> （自治体）
地域産業の活性化 (3件)	■ 観光に利便性が良い、工業団地の設置、工場誘致ができるなど、将来性のあるルート設定にしてほしい。（金融業関連） ■ <u>経済・産業の活性化を図るうえで必要不可欠。</u> （商工会）
観光振興の促進 (4件)	■ 天橋立観光後、城崎に宿泊する人が増加している。この流れを変えていく必要がある。（観光関係者）
事故、災害時に機能するネットワーク確保 (4件)	■ 南海トラフ地震等が懸念される中、 <u>京都縦貫自動車道と連結し災害時の緊急輸送道路として必要不可欠。</u> （商工会） ■ 高規格道路で日本海側を早期につなぎ、有事の際の逃げ道確保をしてほしい。（商工会）
安全性・走行性の向上 (7件)	■ 渋滞対策にも寄与する。（金融業関連） ■ 一部の下道の交通量が増えると考えられる。 <u>登下校の児童の危険性の配慮。</u> （その他団体）
自然環境、生活環境、景観、歴史文化（0件）	—
その他 (33件)	□ 早期の全線開通。（自治体、商工会、観光関係者、製造業関連、金融業関連、運輸業関連、その他団体） □ 料金の適正な設定について十分な検討。（商工会、農林漁業関連、運送業関連、その他団体） □ インターチェンジの箇所や検討状況について早期に示してほしい。（自治体、観光関係者、住民団体代表） □ 追い越し区間や登坂車線の整備を行い速度差のある車両への対策をしてほしい。（自治体、観光関係者、農林漁業関連、その他団体）

意見聴取結果のまとめ

■意見聴取の結果

- 提示した3つのルート帯案について、**全ての意見聴取において「効果的だと思う（効果的+概ね効果的）」の割合が約8割**を占めており、「効果的だと思わない（効果的ではない+あまり効果的ではない）」の割合は、1割を下回る。
- 地域住民・道路利用者へのアンケート調査（郵送、配架、WEB、街頭）、「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する団体へのアンケート調査及びヒアリング調査の結果において、**「持続可能で暮らしやすい地域づくり」、「観光振興の促進」、「事故、災害時に機能するネットワークの確保」、「安全性・走行性の向上」の項目を重視（特に重視+やや重視）する意見が7割以上**となった。

■対応方針（案）を選ぶ際に重視すべき項目

- **対応方針（案）を選ぶ際に重視すべき項目**は、政策目標及びその他配慮事項等の項目のうち、地域住民・道路利用者へのアンケート調査（郵送、配架、WEB、街頭）、「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する団体へのアンケート調査及びヒアリング調査の結果において、**重視（特に重視+やや重視）という意見が7割以上であった下記4項目とする。**
 - ・ **持続可能で暮らしやすい地域づくり**
 - ・ **観光振興の促進**
 - ・ **事故、災害時に機能するネットワークの確保**
 - ・ **安全性・走行性の向上**
- その他の項目（「その他配慮事項等」）については、今後の検討において十分な配慮に努める。